



まなびのおと



●テスト勉強のアドバイス ～先生たちの経験から～

新学年になって初めてのテストが近づいてきました。今回は先生方が実践した方法、テスト勉強に効果があるとされている勉強を取材しました。参考にして、中間テストに備えましょう。

【保健体育科 T先生】



「赤シート」をよく使っていましたね。国語や保健体育、美術、音楽、技術家庭などは、授業で先生が大切だと言ったところを赤シートを使って覚えるようにしていました。社会や英語も同じように語句や単語をひたすら覚えていきましたね。保健体育で出てきた「パラトルモン」という物質を、「こんなポケモンいそうやな」と勝手にイメージして覚えていたりしました。今でもその単語は忘れていません（笑）。他にも、数学や理科など問題集があるものについては、それを解き続けました。正解不正解にかかわらず、何回も解くことで答えられるようにしていました。

【数学科 T先生】

数学は、問題集を2周くらいやって、問題が解けるようになっていました。社会や理科については、大切な言葉を「赤シート」で隠して、それを何回も書いて覚えました。四中でやっている「家庭学習ノート」と同じ自分用のノートに「問題文」と「答え（単語）」を書いて、まずは〈問題→答え〉が言えるまで練習して、その後は〈答え→問題〉が言えるようになるまで練習しました。問題から答えが言えて、答えから問題も言えたら完璧だろうと思って、何度も繰り返しましたね。この方法はかなり有効でした。ただ、とにかく国語と英語が苦手な苦手な（笑）。国語の漢字や英語の単語など、絶対に取れるところだけは覚えていたが…苦手克服のために、読書することを薦められてかなり読んだ思い出があります。その他の教科については、先生が言っていたことをしっかりと理解して、授業ノート・プリントのポイントを必ずおさえるようにしていました。結構、先生が授業中にテスト関係の話をしてもらえることが多いイメージなので、先生の話聞き逃すのは損すると思いますね。



【英語科 K先生】

国語と英語については、そのまま出るもの（漢字や単語）については、ひたすら書いて覚えました。理科や社会は、「赤シート」を使っていましたね。あと、数学は宿題として出ていなくても、習った部分の問題を家で解いていました。記憶が新しいその日のうちに復習をしていました。ほんまですよ（笑）。それから、実技系の教科については、とにかく授業を頑張りました。なかなか普段家で勉強しにくいこともあるし、毎回の頑張りが成績に入ってきますからね。やっぱり実技系の教科は授業を頑張るかどうかで差がつくイメージがあるので、まず授業を大切にしました。そうしていると、テストも良い結果につながりました。「日々の授業を大切に」というのは大事なことだと思っています。あとは全ての教科で、先生にめっちゃめっちゃ聞きにいきました。授業中になかなか質問しにくかったので、放課後、特にテスト1週間前には、問題集をやってわからなかったところや疑問を聞きにいきました。これも勉強をするうえで効果的だったと思います。

